

問 休日の在宅当番医利用時に薬の購入が困難であり、当番薬局が必要と思うが、市の考えは。

答 在宅当番医制度に合わせた当番薬局開設の必要性は市も認識しており、要望も受けていることから、令和8年度の実施に向け検討している。



熊への対策と安全安心な市民生活について

問 熊による人身事故が多発しているが、農業・産業への経済的損失に今後どう対処していくか。また、市民生活の安全をどう守っていくのか。

答 本市では今年3月にツキノワグマ管理実施計画を策定し、市内5カ所を管理強化ゾーンとして管理捕獲を行ってきた。県内でも同様に出没、被害が多発していることから、県知事が国に自衛隊派遣を要請し、本市

においても箱罾の運搬などの支援を受け、市としては管理強化ゾーンにおける管理捕獲のための支援策について情報収集に努め、確実に実施していく。

また、生息頭数、生息状況がある程度正確に把握された段階で、生息頭数に見合った捕獲目標を立て、人員配置、体制整備を図りながら被害低減に向け実効性のある管理捕獲を実施していく。

併せて、出没の要因を減少させる環境管理の継続も必要であることから、生活圏での誘引物の除去、緩衝帯の設置、電気柵の適切な設置など、基本的な対策を粘り強く行っていく。

質問した項目

- 熊への対策と安全安心な市民生活について
- 畜産業における肉用牛生産の担い手、労働力不足について
- 在宅当番薬局について
- 豊真木沢川改修工事について



録画配信はこちらから

宮野 和秀 議員 (誠心会)

質問時間 30分

一般質問 宮野和秀議員(誠心会)

問 医療ビジョンに、県との定期協議実施や支援依頼先の平準化を盛り込むべきではないか。

答 県とは様々な角度から協議を重ねてきた。医療ビジョンの実効性向上には県の協力が不可欠であり、今後はより密接に連携していく。



新たな医療ビジョン策定について

質問した項目

- 持続可能な鹿角市に向けて
- 鹿角市景観条例の改正について
- 市民アンケートによる男女共同参画への市民意識について

問 遠隔診療や、医療Maas等による地域へ出向く診療の実現等、ICT活用の医療に取り組むことを医療ビジョンへ盛り込むべきと考えるが、市の考えを伺う。

答 現時点では医療機関相互の体制構築から検討が必要と考えられる。医療Maasについても関心はあるものの費用対効果や実施主体のほか様々な課題があることを認識している。ICTを活用した医療

提供については医療機関の意見も踏まえながら取り組んでいく。

問 持続可能なまちづくりへの財源捻出には痛みを伴うが、行政はどう努力するのか。また、市民・職員に求める具体的な内容と実施に向けての覚悟を伺う。

答 公共施設の廃止・統廃合が喫緊の課題であるが、利用を継続する施設はサービス向上に努めていく。職員には一人ひとりが経営意識を持ち、自ら研さんして能力を最大限に発揮し、市民サービス向上の質の向上と効率的な行政運営を進めるよう求めていく。



録画配信はこちらから

丸岡 孝文 議員 (無党派)

質問時間 30分

一般質問 丸岡孝文議員(無党派)